

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

「美しい心、大切にしたい」

中国研修生二人、西能病院に

日本のリハビリテーションの中心の技術を習得するため来日していた中国肢体伤残センター(リハビリテーションセンター)の医師、呉金灼氏(三二)と、治療士、陳小梅さん(二四)は、二月二十一日から同二十四日までの四日間、西能病院リハビリテーション部で研修、診療室、病室などを回った。「西能病院の皆さん、とても親切、私たち、この美しい心、大切にしたい」と語った。このあと、福井医科大学に向かい、三月十一日に帰国した。二人は北京の日本語学校で学び、日本語がスラスラ。



著物：に大喜びの呉氏(左)と陳さん
—中島部長宅で—

リハビリの本を贈る

山本看護部長

二人は昨年九月に来日、愛知医科大学付属病院リハビリテーション部で理学療法士としての技術を修得、その間、東京、大阪、神戸、神奈川、四国、九州などの各リハビリ施設を視察した。北京のセンターは88年秋ごろ二百二十床でオープン。中国から来日したのは二人が初めて。このあと十人位、来日すると「(シエ、シエ)」と、さかんに「謝る」(シエ、シエ)。

夕食に招待

中島事務部長

中島部長は、二十二日夕食に招待した。ご馳走は希望で中国料理。近所は奥さんたちも集合してぎょうざ、えびフライ、

「どこみても、きれいな」

誓いの言葉に緊張

西能病院の印象について「西能病院、どこみてもきれいな。落ちついた感じがする。やと歩ける患者さんに付きそつている看護婦さん、患者さんの身になって細い心づかい。訓練に励んでいる患者さん、理学療法士の皆さん、一心同体。この姿、美しい。この心、大切にしたい。ニコニコパッパ、よくできています」

あすなろ

葉書いっぱい 墨で鳥の絵が描かれていた。余白にのびのびとした大きな字が躍っている。「今すぐに舞いあがりたいたい。もう一枚、これは封書、やはり大きな字で和紙っぽい「絵手紙を交流しませんか。ヘタな字でもいい。自分の素顔を隠さずに」とある。全く未知の人だったが、もう何年も付き合った人のような深い熱い感情が伝わってきた。それが絵手紙運動を続けている書家、小池邦夫さん(東京都狹江市西和泉2-16-105)からの初便りだった。小池さんはもと書家だった。古くは書道界にあり、さらには文と書の三位一体の独特の絵手紙作家になり、もう二十年を超える。一年に六万枚を書くと、日本絵手紙協会を作った。俳優の緒形拳さん、米倉幸加年さん、風見章子さんをはじめ漫才の獅子でんやさんや内海幸子さんらも仲間だ。富山県内にも沢山の。宇奈月町宇奈月の広瀬秋夫さん、その一人。先日小池さんをはじめ仲間らの作品を展示し絵手紙交流展をひらいた熱心な愛好家だ。「今感じている思いをそのまま話しかけるように自分語で書けばいい。真心さえあれば型破りでもはみ出していい。それが生きた手紙」と小池さんはいう。あなたもどうですか。ともかく小池さんか広瀬さんあてに一言でもいいから絵手紙を出してみませんか。必ず返事が返ってきますよ。

西能病院 二十四年の歩み

37年3月	富山市星井町40番地に西能整形外科医院を開設(収容施設10床)
38年9月	救急車(プリンス)購入
38年10月	富山市五福1130に西能整形外科病院建設着工(木造病棟)
38年12月	同病院完成、開設(18室47床)
39年5月	救急病院に認定
39年10月	病院第一期増築工事に着工(鉄筋コンクリート三階建て)
40年4月	第一期増築工事完成、開設(27室77床)
41年12月	星井町の医院を廃止
42年3月	救急車(ジープ)購入
42年10月	患者通院用のマイクロスコープ購入
42年11月	病院第二期増築工事に着工(鉄筋コンクリート四階建て)
43年8月	第二期工事完成、開設(34室116床)
44年7月	富山大橋橋脚沈下で地鉄ビルに診療所開設
47年3月	患者通院用バス(三菱中型20)購入
47年12月	外来及び医事部門の改修工事完成
49年1月	病歴室を設置、病歴を整理分類
49年7月	外来患者累計50万人を突破
50年2月	リウマチクリニック開設
51年2月	外来医事部門コンピュータ設置
51年12月	入院患者累計50万人を突破
53年4月	形成外科クリニック開設(北里大学市田先生)
53年5月	救急車(トヨタハイエース型)購入
54年5月	内科外来の診療開始
54年10月	「医療法人財団五省会」の認可
55年3月	新型通院バス(三菱ふそう)購入
55年11月	病院新聞「五省会ニュース」発刊
56年3月	「特定医療法人」認可
56年5月	第三期増築工事に着工
58年3月	第三期増築工事完了。病床百八十五床
58年4月	内科を充実、内科病棟を新設
58年10月	集団給食部門で厚生大臣賞
59年5月	西能院長に厚生大臣賞、日本病院会での病事業の発展向上に努めた功績
59年11月	第一回QCサークル大会を開催
60年1月	接遇改善委員会(委員長、中島事務部長)が発足、全職員がニコニコパッパ着用
60年9月	第35回日本病院学会(伊勢市)に西能病院以下十一人が出席、五演題を発表
60年10月	地域住民のための健康教室を病院五階ホールで開設。毎月一回
60年11月	氷見市第一山荘で日本病院会の病院幹部医セミナーを開催、同会常任理事の西能院長が世話役
60年12月	泌尿器科と神経内科の二科外来を新設

開院二十四周年にあたり

西能 正一郎

「心もとない若造に、ようこそ」

胸の中で手を合せたい気持ち

三月二十一日で私共の病院は二十四回目の誕生日を迎えます。来年で四半世紀になると思うと、ほんとに、それほどの時間が経過したかと信じられないような気持ちです。スタートは、私一人に七人の職員という、町医者で始まったのに、いつの間にか、百四十人の大世帯にふくれ上ってしまいました。長い間同じ仕事をしておりました。開院したての頃におつきあいたたき、手術をさせていただいた方や、ひよつとすれば、そのままだ前の、農協滑川病院時代や、昭和三十年頃の農協高岡病院時代の患者さんが、ヒョッコリと、診療室に現れることがあります。カルテの名前を見て聞いたことのある名前だと一生懸命思い出そうとしているうちに、ニコニコとした顔が現れて、「先生、元気け」と声をかけてくれます。しばし顔をみつめながら、細い記憶の糸を病歴はどうであつたとか、世間話に花が咲き始め、

「どこみても、きれいな」

誓いの言葉に緊張

西能病院の印象について

「西能病院、どこみてもきれいな。落ちついた感じがする。やと歩ける患者さんに付きそつている看護婦さん、患者さんの身になって細い心づかい。訓練に励んでいる患者さん、理学療法士の皆さん、一心同体。この姿、美しい。この心、大切にしたい。ニコニコパッパ、よくできています」

夕食に招待

中島事務部長

中島部長は、二十二日夕食に招待した。ご馳走は希望で中国料理。近所は奥さんたちも集合してぎょうざ、えびフライ、

「どこみても、きれいな」

誓いの言葉に緊張

西能病院の印象について

「西能病院、どこみてもきれいな。落ちついた感じがする。やと歩ける患者さんに付きそつている看護婦さん、患者さんの身になって細い心づかい。訓練に励んでいる患者さん、理学療法士の皆さん、一心同体。この姿、美しい。この心、大切にしたい。ニコニコパッパ、よくできています」

胸の中で手を合せたい気持ち

振返ってみれば、この二十四年間に色々なことがありました。その都度大過なく過ぎ去ってくれて、生々しい思い出も色褪せ、過去のとばかりの中に沈んで行ってしまう。しかし、この間に私共のやらせていただいたことが積み重なって、今日の私共の仕事の基礎となり、明日の発展へのエネルギーになっていることを噛みしめております。

3月21日 開院二十四周年記念式

が患者さんたちから喜ばれている。
病気を予防する目的のため「健康教室」は同年九月

永年勤続

▽二十年（三人）井上千恵子、安川みどり、山口明江
▽十五年（七人）広長百合子、鑑政行、今井礼子、田中行久、金谷智恵子、二口雅子、飛田勉
▽十年（三人）古井良

表彰者

洋、吉田範子、木下文雄

▽五年(十一人)小幡
英子、田畑朱美、前田靜
香、松永幸恵、木下春美、
大島佐登美、土山隆子、
多胡悦子、田中真由美、
川口知明、安井好子、
船本芳美 (敬称略)

要望に應えて、同年十
一月、泌尿器科と神経内
科の二科外来を新設した

から毎月一回、同院五階ホールで開かれている。地域住民や入院患者が集まり、なかなか好評である。

⑧

▽身体障害者手帳に関する調査結果より

当院では、年々身障手帳の申請が増えてくる傾向にあります。そこで今回は、身障手帳申請から実際の活用についてアンケート調査を行いましたので、その結果を報告します。

当院に、入・通院しておられる身障手帳所持者五十名。

女	男
23名	27名

30代	2名
40代	7名
50代	11名
60代	17名
70代	11名
80代	2名

1級	15名
2級	26名
3級	4名
4級	0名
5級	3名
6級	2名

①身障手帳は誰（どこ）から勧められたか。

元々知っていた	3名	リュウマチ友の会
接骨院	1名	保健婦

不明 2名

③申請して良かったか、役に立っているか。

●どのようなことが役に立っているか。(重
ア医療費の負担軽減

ウ日常生活用具の交付（ベット・便器など）
エ各種福祉的手当の支給

力税金の減免（所得税、住民税、自動車税）

クNHK放送受信料減免
ケその他、高速道路料金半額 2名 航空

④今後どのような制度を作ってもらいたいか

・日常生活用具の支給制限をゆるめてほしい

- ・灯油（燃料費）の助成

- ・介護者に休息を与える制度を作ってもらいたい
- ・職業訓練学校を作ってもらいたい

- ・タクシー料金助成引き上げ
- ・家屋改築資金の援助

- ・電話料金の半額
- ・障害者の運転する車には、若葉マークのよう

- ・郵便物を集めにきてもらいたい
- ・固定資産税の減免

三、考 察	滿 足	38 名	不 滿 足	8 名	不 明	4 名
-------	-----	------	-------	-----	-----	-----

めか、身障者になった事を冷静に受けとめてお
 かったようです。50名全員が、身障手帳をもらっ

このような制度そのものの存在を知らなかった
がどのような制度を活用しているのかわからな

かなりいるという事が判明しました。又ほととの等級について身体に依っていると答えられま
者よ、上級の級への等級変更を希望してやりな

それ以外の編との特典差によるということも
(医療ソーシャルワーカー)

●年中無休・24時間受付の診療体制を敷いております。 ●救急車（2台）は、要請により出動致します。

診 療 科 目	曜 日	午 前	午 後
整 形 外 科	月 ～ 土	8 : 30 ～ 12 : 00	16 : 00 ～ 19 : 00
リハビリテーション科	月 ～ 土	8 : 30 ～ 12 : 00	13 : 30 ～ 19 : 00
内 科	月 ～ 土	8 : 30 ～ 12 : 00	病棟回診火・夜診 (16:00～19:00)
ハ リ 治 療	月 ～ 土	8 : 30 ～ 12 : 00	13 : 30 ～ 17 : 00
泌 尿 器 科 外 来	毎月第2土曜日		13 : 30 ～ 17 : 00
神 経 内 外 外 来	毎 週 木 曜 日		14 : 00 ～ 17 : 00
形 成 外 科	毎 月 1 回	8 : 30 ～ 12 : 00	(診察日は受付でおたずねください)